

支援者の越境する力養成講座

自身の経験をこれからにつなげる

参加費
無料

(各回定員30名)

※第1回・第2回は、同一内容での実施となります。
ご都合に合わせてどちらかの回にご参加ください。

第1回
中通り

2024年1月22日(月)

会場

安積公民館・安積総合学習センター（第一会議室）
（福島県郡山市安積町荒井字南赤坂265）

第2回
浜通り

2024年1月29日(月)

会場

大熊インキュベーションセンター（大会議室）
（福島県双葉郡大熊町下野上清水230）

10:00～15:00

(途中1時間の昼食休憩を挟みます)

対象 被災者の生活支援・

コミュニティ支援に取り組む担い手のみなさま

(生活支援相談員、避難者地域支援コーディネーター、コミュニティ交流員、等)

進行
スタッフ

第1回 菊池広人（NPO法人いわてNPO-NETサポート 理事・事務局長）

第2回 菅野 拓（大阪公立大学大学院文学研究科 准教授）

ダクルス久美（よりあいコミュニティソーシャルワークス 代表）

真壁さおり（よりあいコミュニティソーシャルワークス 理事）

石塚直樹（一般社団法人みちのく復興・地域デザインセンター 理事）

主催

一般社団法人みちのく復興・地域デザインセンター

協力

よりあいコミュニティソーシャルワークス

社会福祉法人福島県社会福祉協議会

特定非営利活動法人みんぷく

一般社団法人ふくしま連携復興センター

※本事業は令和5年度復興庁被災者支援コーディネート事業により実施しています。

お申し込み | メールまたはウラ面に記載のお申し込みQRコードよりお申し込みください
お問い合わせ | 一般社団法人みちのく復興・地域デザインセンター（担当：栗原・石塚）
電話番号 | 022-797-6708（担当者不在の際は折り返しご連絡させていただきます）
メールアドレス | kurihara@michinoku-design.org

開催概要

東日本大震災の被災者支援において、地域福祉の分野においても、さまざまな支援者が地域内外から被災者支援に取り組んできました。まだまだ先の見通せない、特に福島県の、復興の過程においても、支援者同士がさまざまな境界を越え、さまざまな主体と連携した地域支援を行うことが、抜け漏れのない地域支援へとつながっていきます。支援に取り組んでいる担い手同士が、それぞれの活動について知り合うことで、これまでの被災者支援の取り組みを、これからの地域でのさまざまな活動につなげていき、支援者同士が連携した地域支援へとつながります。

そこで、被災地での生活支援・コミュニティ支援を担う方同士が、地域や組織、セクターを超えて学び合い、つながる場として研修会を行います。これまで自身が、どのような支援に取り組んできたか、これから先どのような活動を進めていくか、の意見交換を行うことで、今後の地域での支援活動において求められる、連携への糸口をつかむことを目指します。

プログラム

10:00	開会
10:00-12:00	プログラム1「これまでの活動を振り返る」
12:00-13:00	お昼休憩（ランチ交流会）※昼食は各自ご持参ください
13:00-	プログラム2「これからの活動を思い描く」
15:00	閉会

※プログラムは変更になる場合がございます。

お申し込みQRコード



こちらのQRコードよりお申し込みください。

お申し込み方法

■申し込みフォームよりお申し込みいただく場合

右上の「お申し込みQRコード」を読み込んでいただくと、申し込みフォームへと進みます。フォームへご入力いただき「送信」いただくと申し込み完了となります。

■メールよりお申し込みいただく場合

ご参加いただく方のお名前、所属組織名、連絡先メールアドレス、参加希望の日を明記の上、kurihara@michinoku-design.org までメール送信をお願いいたします。

※そのほか、確認事項等ありましたら、本紙表面下記載のお問い合わせ先までご連絡ください。

会場アクセス

第1回（1月22日）

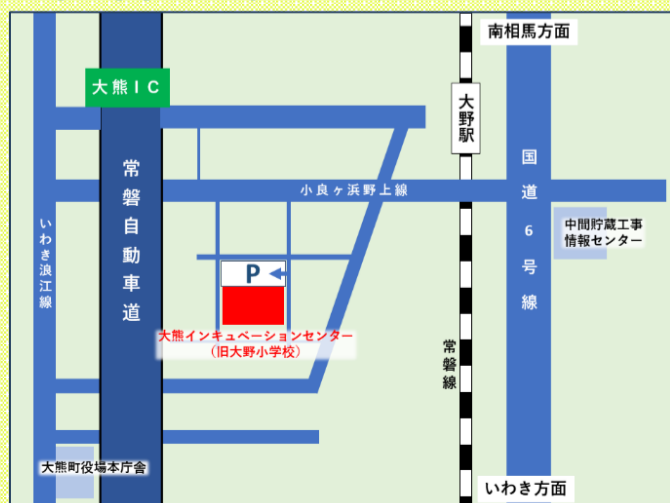


安積公民館・安積総合学習センター
（福島県郡山市安積町荒井字南赤坂265）

バス：郡山駅前から安積団地行き
安積団地（終点）下車 徒歩10分



第2回（1月29日）



大熊インキュベーションセンター
（福島県双葉郡大熊町下野上清水230）

電車：JR常磐線「大野」駅下車 徒歩20分

大熊町生活循環バス

「大熊インキュベーションセンター」下車

車：常磐自動車道「大熊IC」から約5分



※どちらの会場も、施設の無料駐車場をご利用いただけます